

## 「鬼北」で学んだこと、将来の糧に

◎城西国際大学環境学部・町内研修

研修に参加した環境学部の学生



8月27日と28日の2日間、千葉県の城西国際大学環境学部の学生たちが、研修のため鬼北町を訪れました。初日に行われた歓迎会では、甲岡秀文町長が「短い期間だが、鬼北町の魅力に浸ってほしい。そして、このご縁が今後に繋がってくれば」と歓迎。そして、参加者を代表して伊藤俊治さんが「記憶に残る研修にしたい」と今回の研修への意気込みを述べました。参加した学生たちは、研修中さまざまな場所で町内外の自然や事例などを学習。多くの知識を吸収し、帰路につきました。

## 無病息災を願って…熱戦奉納

◎六地藏奉納相撲大会

投げられるか投げられるか必死の攻防



「六地藏奉納相撲大会」は8月24日、武左衛門広場で行われました。町内の小学校から多くの選手が参加した本大会。個人戦と団体戦、そして3人抜きの勝ち抜き戦が行われ、参加した児童たちによる迫力ある熱戦が展開されました。また、大会前にはみどり保育所の園児たちによる試合も行われ、小さい体で奮闘する姿に、観客からは温かい拍手が送られました。この奉納相撲は、「日吉地区を災いから守る」とされている六地藏への、感謝と供養を示すと伝えられています。

## いつまでもお元気で…清家さん104歳

◎鬼北町最高齢者訪問

笑顔で賞状を受け取る清家さん



8月31日、鬼北町の最高齢者である清家豊子さん(興野々)を、甲岡秀文町長が訪問しました。この日、甲岡町長からは激励の言葉とともに賞状と記念品を清家さんへ贈呈。清家さんは、柔かな笑顔を浮かべながら嬉しそうにそれらを受け取っていました。今年で104歳を迎える清家さん。今回で4年連続での鬼北町最高齢者となりました。これからもお元気で、長生きしてくださいことを願っています。

## 秋の味覚・新米、それは最高のごちそう

◎新米まつり2015

「俵鬼ぎり早食い大会 勝つのは誰だ



「新米まつり2015」は8月30日、道の駅森の三角ぼうしで行われました。会場では、毎年大好評の羽釜で炊いた新米おにぎりの無料配布のほか、夏野菜カレーやきじ入りメンチカツなどさまざまな店舗が自慢の一品を販売。また、今年初めて行われた「川ガニレース」では、多くの来場者たちが参加し、レースを盛り上げました。また、子どもの部・女性の部・一般の部に分かれて「俵鬼ぎり早食い大会」を開催。おにぎりを口いっぱい頬張る参加者たちの勇姿に、観客からは温かい声援が送られました。